浜 危 危 第 240 号
令 和 8 年 10 月 27 日

自主防災隊長　各位

浜松市危機管理課　課長　小林　正人
浜松市自主防災隊連合会会長　小名木　秀雄

令和８年度浜松市地域防災訓練の実施について（お願い）

秋冷の候、皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。日ごろから地域の防災対策の推進につきましてご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、本年度の浜松市地域防災訓練を下記のとおり実施を予定しております。

つきましては、「令和8年度浜松市地域防災訓練実施要領」等を送付いたしますので、多くの住民の積極的な参加を促すとともに、地域の実情に合わせた防災訓練を実施されますようお願いいたします。

なお、本訓練は、令和8年度 浜松市自主防災隊連合会　定期総会資料内　第4号議案「事業計画」に記載の「大規模な突発地震の発生に備えた地域防災訓練」と同じものです。

記

１　訓練実施日

12月6日（日）「地域防災の日」（推奨日）

※訓練実施日は必ずしも上記日程である必要はありません。各自主防災隊が任意の日を設定しても構いません。

12月6日（日）は、以下のとおり同報無線等からサイレン吹鳴及び緊急速報メールの訓練配信を行いますので訓練開始の合図などにご活用ください。

同報無線 （戸別受信機含む） ※一部地域を除く	令和8年12月6日（日） ・午前8時50分ごろ　「訓練のお知らせ」 ・午前9時00分ごろ　「地震発生［サイレン（60秒間吹鳴）］ ・午前9時05分ごろ　「大津波警報［サイレン（3秒吹鳴・2秒休止）×3回］」 繰り返し1回 ※「大津波警報」：中央区（中・西・南地域）浜名区（北地域）が対象（雄踏・三ヶ日地区を除く）
緊急速報メール	令和8年12月6日（日） ・午前9時05分ごろ　「【訓練】避難指示“発令”（大津波警報）」 ※中央区、浜名区の携帯電話、スマートフォンなどに配信

サイレン吹鳴等の中止基準は、別添「令和８年度浜松市地域防災訓練実施要領」の「５　中止基準」をご覧ください。

２　アンケートへの回答について

本アンケートは、最終的に静岡県が取りまとめ、参加人数や実施内容を集計するために使用します。浜松市においては、調査結果の一部を浜松市公式HP内「自主防災隊のページ」に掲載し市民等へ情報提供することで、参加を促すために使用します。

<table>
<tr><th></th><th>種別</th><th>対象</th><th colspan="2">回答方法</th><th>回答期日</th></tr>
<tr><td rowspan="2">1</td><td rowspan="2">令和８年度地域防災訓練実施アンケート
（計画）※3</td><td rowspan="2">全自主防災隊</td><td>Web 回答
※1、2</td><td></td><td>11 月 20 日（金）</td></tr>
<tr><td colspan="2">郵送、FAX、メール、窓口渡しの方法によるアンケート用紙の提出</td><td>11 月 20 日（金）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">2</td><td rowspan="2">令和８年度地域防災訓練実施アンケート
（結果）</td><td rowspan="2">「訓練を実施した隊」
または
「訓練を中止した隊」</td><td>Web 回答
※1，2</td><td></td><td rowspan="2">「訓練後
１週間以内」
または
「中止決定後すぐに」 ※4</td></tr>
<tr><td colspan="2">郵送、FAX、メール、窓口渡しの方法によるアンケート用紙の提出</td></tr>
</table>

※1 Webでご回答いただいた場合は、紙やハガキでの回答は不要です。

※2 Web での回答方法：上記 1、2 の用紙の「**二次元コード**読み込み」
または「URL にアクセス」して、その指示に従って回答してください。

※3 本通知を受け取る前に、地域防災訓練を実施済みの場合は、「アンケート（計画)」の**二次元コード**に実施結果を回答してください。「アンケート（結果)」は、参加人数の報告のみであり、訓練内容を把握できないため、「アンケート（計画)」での報告をお願いします。

※4 「アンケート（計画)」に実施予定と回答後、訓練の中止を決定した場合は、
速やかに「アンケート（結果)」に「中止」の回答をしてください。

※5 アンケート用紙やハガキなどを紛失した場合は、下記 URL から入手が可能です。
アンケート等資料格納場所：浜松市公式ホームページ「自主防災隊のページ」
https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/kiki/disaster/bousai/jishubo.html



ホームページには、最新の情報を掲載しています。
随時ホームページをご覧ください。

自主防災隊のページの二次元コード

３　添付書類

（１）令和8年度浜松市地域防災訓練実施要領

（２）令和8年度地域防災訓練実施アンケート（計画）・・・A4

（３）アンケート返信用封筒用紙

（４）令和8年度地域防災訓練実施アンケート（結果）・・・ハガキ

４　その他

（１）訓練計画の作成にあたっては、同封の「令和8年度浜松市地域防災訓練実施要領」をお読みいただき、別紙１「令和8年度静岡県地域防災訓練　実施項目例」及び付紙１「参考情報」を参考に取り組まれるようご検討ください。

（２）訓練指導等は、各区区振興課もしくは最寄りの消防署・消防団へご相談ください。また、道路上において放水訓練等を行う場合は所轄の警察署へ道路許可使用申請が必要となりますので、手続きをお願いします。

（３）地域の住民に、可能な限り、訓練参加への働きかけをお願いします。

（４）地域防災人材バンクの活用について

静岡県では、「地域防災指導員」や「静岡県防災士」等を養成し、地域や職域での防災活動に指導者や講師、アドバイザーなどとして協力・貢献できる方の名簿「地域防災人材バンク名簿」を作成しています。この名簿は、防災講座の講師や、訓練におけるアドバイザーとして派遣のご希望に対してご活用いただけます。また、「詳細は、下記連絡先までお問い合わせください。

連絡先：静岡県地震防災センター

（電話：054-251-7100　メール：eq-center@amethyst.broba.cc）

（５）浜松市は、各区で起こりうる災害の想定や、災害の特性に応じた避難行動の手順、判断基準、注意点などをまとめた「区版避難行動計画」を作成しております。訓練の参考としてお読みいただきますようお願いします。最新の区版避難行動計画は、市ホームページに掲載しています。

≪問合せ先≫
〒430-8652 浜松市中央区元城町103-2
浜松市危機管理監　危機管理課
市民啓発グループ　担当：笠原、中村、山本
TEL:053-457-2537　FAX:053-457-2530
E-mail:bosai@city.hamamatsu.shizuoka.jp

別添

令和８年度 浜松市地域防災訓練実施要領

１　目的

「地域の特性に応じた防災体制の確立」と「市民の防災意識の高揚による減災の実現」を目的に、市民・自主防災隊が中心となって、地域の特性に応じた地域防災訓練を毎年度実施している。

静岡県地震・津波対策アクションプログラム2023では、「想定犠牲者の９割減災」と「被災後生活の質的向上」を目指しており、浜松市においては、自助・共助を見直す取り組みを推進することで、地域防災力の更なる向上を図る。

２　訓練実施日

12月6日（日）「地域防災の日」（推奨日）

訓練実施日は必ずしも上記日程である必要はありません。各自主防災隊が任意の日を設定しても構いません。

３　訓練想定

各地域の特性に応じ、地震・津波・風水害による被害などのリスクを踏まえた想定のもと訓練を実施する。

４　訓練実施項目及び配慮事項

訓練実施項目については、別紙１「訓練項目例」を参考として実施するものとする。家庭や自主防災隊における自助・共助の防災力を高めるために、本年度積極的な実施を推奨する項目を重点項目とする。なお、実施に当たっては、地域特性を踏まえ実施するものとする。

また、12月が「多文化共生月間」に位置付けられていることを踏まえ、外国人県民を地域防災の担い手と捉えて、積極的な訓練参加を呼びかけるものとする。

５　中止基準

ア　各隊の訓練中止基準は独自に定めるものとし、下記イを参考にする。

イ　浜松市として、12月6日のサイレン吹鳴等を中止する基準は、下記のとおりとする。

(1) 市内に津波注意報、津波警報又は大津波警報が発表されている場合
(2) 市内に震度４以上の地震が発生し対応を必要とする場合
(3) 市内に気象警報（大雨・洪水・暴風・高潮・大雪）又は気象に関する特別警報が発表されている場合
(4) 県内に震度５弱以上の地震が発生し対応を必要とする場合
(5) 県内に気象に関する特別警報が発表され対応を必要とする場合
(6) 南海トラフ地震臨時情報（調査中、巨大地震注意又は巨大地震警戒）が発表され対応を必要とする場合
(7) その他、中止することが必要であると判断される事象が生じた場合

ウ　上記イによりサイレン吹鳴などを中止する場合、以下の方法で訓練中止を周知する。

(1)市ホームページ（自主防災隊のページ）へ掲載（中止決定次第。前日･当日を除く）
(2)災害用伝言ダイヤル「１７１」（伝言再生用電話番号053-457-2537 別紙2参照）
（当日午前6時30分ごろ）
(3)災害用伝言板（ｗｅｂ１７１）（伝言確認用電話番号053-457-2537 別紙2参照）
（当日午前6時30分ごろ）
(4)防災ホッとメールの配信（当日午前6時30分ごろ）
(5)浜松市公式LINE（緊急情報）の配信　（当日午前6時30分ごろ）
(6)自主防災隊一斉連絡メール（登録いただいた方のみ）の配信（当日午前6時30分ごろ）

＜重点項目　概要＞

自助	○「**わたしの避難計画**」「マイ・タイムライン」の作成・点検、「地区津波避難計画（作成済の地区のみ）」の確認 ・ハザードマップで自分のいる場所の災害リスクを確認（浜松市防災マップの活用） ○緊急防災情報の確認（「南海トラフ地震臨時情報」「特別警報」「避難情報」など） ○避難訓練など自主防災活動への参加 ・避難場所、避難経路、避難所要時間の確認（「静岡県防災」アプリの活用） ○身の回りの防災対策の確認 ・家具類の固定 ・家庭内の7日分の生活物資の備蓄　・携帯トイレの備蓄 ○フェーズフリーの考えを意識した取組 ・災害への備えを特別なものとせず、普段の生活に溶け込ませることを意識した行動 （例）普段から消費する食品を少し多めに買い足す。モバイルバッテリーは、災害時もスマートフォンの充電に使用でき、情報収集や連絡手段を確保できる。キャンプ用品を災害時に使用する。散歩やランニング中に、近所の危険な場所を確認する。災害を想定し、商用電源や公共ガスを使用せず、モバイルバッテリーやカセットコンロを使って模擬避難所生活を体験する。 ○地震保険の加入 ・地震、噴火、津波による火災、損壊、流失などで建物や家財が損害を受けた際に支払われる保険の加入を検討し、「もしも」に備える ○能登半島地震を踏まえて追加する重点項目 ・住宅の耐震化の確認 ・火災防止対策の確認（感震ブレーカー、住宅用火災警報器などの備え） ・電気、ガス、水道、電話、交通機関等の被害の発生を想定した備えの確認
共助	○避難所運営訓練の実施 ・**ファーストミッションBOXを利用した避難所開設の初動訓練【推奨】** ・自主防災隊の運営体制の確認 ・女性の視点を取り入れた避難所環境や運営方法の確認 ・避難行動要支援者の所在の把握と支援方法の確認 ・上記確認事項を踏まえた避難所運営訓練の実施 ○避難訓練の継続的な実施 ・避難所要時間や避難経路の検証　・若年世代の地域防災活動への参加 ○計画、マニュアル類の継続的な見直し、確認 ・地区津波避難計画（作成済みの隊のみ）の見直し ・避難所運営マニュアルの確認 ○能登半島地震を踏まえて追加する重点項目 ・自主防災隊における情報伝達方法の確認（隊員間及び市との情報伝達） ・感染症対策や衛生環境改善（簡易トイレ、マンホールトイレなど）を踏まえた避難所運営訓練 ・孤立が予想される地域における対応（住民が主体となったヘリポート開設訓練、通信手段の確認、給水訓練や炊き出し訓練など） ○フェーズフリーの考えを意識した取組 （例）日頃からの近所の方と挨拶をして、顔見知りの関係を築くことで災害時の安否確認など助け合いに繋がる。避難所に常設されている資機材の中に、避難所運営時に活用できるものがないかを確認する。（卓球台をパーテーションや机として使用、体育マットをクッションとして使用等。）

訓練参考事例（静岡県資料）

別紙1

令和８年度静岡県地域防災訓練　実施項目例

〈①今年度の重点項目〉 令和8年度「地震防災強化月間　実施方針」より
「フェーズフリー」、「地域課題に対する改善策の検証と改善」、「令和8年熊本地震」を踏まえた項目

番号	大区分	中区分	小区分	備考
1	自助	備　蓄	携帯トイレやローリングストックを活用した水・食料等の生活物資、感染症対策用品等の7日分の備蓄を確認する。	フェーズフリー
2		点　検	「フェーズフリー（※1）」の考え方を取り入れ、カセットコンロやポリ袋を用いた「ポリ袋調理」で非常食をつくったり、懐中電灯やモバイルバッテリーなどの位置の確認や、非常用照明などで生活を体験したり、ゴミ袋と段ボールで簡易トイレを作るなど、日常生活の延長で実践できることを確認する。	
3		確　認	令和8年熊本地震を踏まえた、在宅避難や車中泊避難等での避難生活における各家庭での暑さ対策等を確認する。	R8熊本地震
4		住　居	住宅の耐震化を確認する。	
5			「家庭内DIG（※2）」により、自宅内の危険度をチェックし、家具類・家電等の固定や配置換えなどを実施する。	
6		確　認	新たな防災気象情報（※3）について、自らが的確な避難行動がとれるよう、自主防災組織等を通じて確認する。	気象情報
7	共助	体　制	地域に居住する外国人県民の積極的な訓練への参加を促すとともに、「外国人住民のための避難生活ガイドブック「やさしい日本語」版、「多言語」版（※4）」を活用し、避難生活の様子などを紹介し、様々な人がともに助け合う防災体制を強化する。	地域課題
8			地域の防災人材や消防団など防災に関する専門的な知識や経験を有する者と訓練を実施する。（防災士、ジュニア防災士の活用など）	
9			地域と事業所等が連携し、事業所等が有する人的・物的な防災資源を活用した訓練を実施する。	
10		運　営	地域の祭りや運動会等のイベント要素を取り入れるなど、「フェーズフリー（※1）」を意識した防災訓練を実施する。	フェーズフリー
11		支　援	令和8年熊本地震を踏まえた、避難所や避難場所等における猛暑下などでの運営方法や必要な資機材を確認する。	R8熊本地震
12			発災後の避難所生活をイメージしてもらうため、地域住民を対象に、スフィア基準（※5）を参考に生活環境改善（段ボールベッドやエアーベッド等の簡易ベッド・パーティション・簡易トイレ・シャワー・仮設風呂等の設置、トイレカー等の派遣、キッチンカーやキッチン資機材を活用した温かい食事の提供、マンホールトイレ等）や感染症対策を踏まえた避難所運営訓練を実施する。	
13		運　営	女性や要配慮者等多様な視点を取り入れた避難所訓練を実施する。	

〈②新規項目〉 国の訓練大綱などを踏まえ、今年度新たに追加した項目

番号	大区分	中区分	小区分
1	自助	確　認	Jアラートの音源や弾道ミサイルが飛来した場合にただちに取るべき行動など国民保護（※６）に関する情報を確認する。
3	共助	体　制	女性専用スペースの設置や避難所運営の意思決定の場に一定数の女性が参画する組織づくりなど、男女共同参画の視点から再確認し、女性のニーズが反映される男女が共に支え助け合う防災体制や避難所運営体制を構築する。
4		運　営	地域特性に応じた災害リスクを踏まえ、発生が想定される被害をイメージし、自主防災組織による対処訓練を実施する。（自主防災組織災害対応訓練「イメージＴＥＮ（※４）」、災害図上訓練「ＤＩＧ（※４）」の活用など）
5		支　援	世帯台帳、避難行動要支援者名簿等を活用した安否確認訓練を実施する。
6			要配慮者が災害時に適切な避難行動をとれるよう、自宅等の災害リスクを伝えたり、最寄りの避難場所までの経路確認の機会とするなど、聴覚や視覚に障害がある人などを含む要配慮者の避難・誘導訓練を実施する。
7		点　検	「避難行動要支援者名簿（※７）」を作成し、避難行動要支援者の所在の把握と支援方法を確認する。
8			避難先までの経路や時間、津波到達アニメーションで経路を検証する。（防災アプリ「静岡県防災」の避難トレーニング機能を活用）
9			地域の人たちと防災まち歩き（※８）を行い、地域における避難方法や危険箇所を点検し、「わたしの避難計画（※４）」の作成を促す。

別紙1

〈③その他実施項目例〉1/3

番号	大区分	中区分	小区分
1	自助	確　認	津波、台風、豪雨時に「高齢者等避難」、「避難指示」、「緊急安全確保」が発令した際の危険回避行動の点検、避難経路・避難場所などを確認する。
2			住居周りのブロック塀の点検を行い、通学路・自宅近隣の危険箇所や避難経路を確認する。
3			火災防止対策（感震ブレーカー、住宅用火災警報器などの備え）を確認する。
4			電話不通時など家族の安否確認方法（災害用伝言ダイヤル等）や・集合場所（指定避難所等）を確認する。
5			各自の携帯電話の緊急速報メール（※９）の受信設定を確認する。
6			災害用伝言ダイヤル「１７１」及び災害用伝言板（web１７１）（付紙２参照）等を使用した安否確認を実施する。
7			「家庭内対策（自助）チェックリスト（※４）」等により、各家庭で行う防災対策を確認する。
8			電気・ガス・水道・通信など施ライフラインの途絶や交通機関等の被害の発生を想定した備えを確認する。
9			市町配布のハザードマップや防災アプリ「静岡県防災」・静岡県GISにより、自宅、学校、職場の災害危険度を確認する。
10			防災・減災に役立つコンテンツ（※10）をテーマ別・災害別に確認する。
11		点検	防災まち歩き（※８）により、自らの避難方法や危険箇所を点検した結果を踏まえ、「わたしの避難計画（※４）」を作成する。
12			防災まち歩き（※８）によって作成した「わたしの避難計画（※４）」を家族と点検する。
13	共助	点　検	避難先までの経路や時間、津波到達アニメーションで経路を再確認する。（防災アプリ「静岡県防災」の避難トレーニング機能を活用）
14			防災アプリ「静岡県防災」の避難所支援機能を活用し、避難所利用簿の事前登録を実施する。
15		体　制	「地域防災活動マニュアル」と「ふじのくに防災ナビ」を活用し、自主防災組織、消防団、学校、事業所等の組織体制と連絡体制を確認する。
16			自主防災組織内の人材台帳を作成する。
17			「自主防初動チェックリスト（※４）」等を用いて、自主防災組織における初動体制や情報伝達方法を確認する。
18			避難時間の短縮を図るため、津波避難施設への道順を分かりやすい場所に掲示するなど、避難方法の見える化を図る。
19			観光施設や駅などで滞留する外国人などに対し、避難誘導訓練や避難所運営訓練などを実施する。
21			事業所等の持つ「組織力」「資材力」「技術力」を生かし、人材や企業と連携した訓練を実施する。
22			在宅避難、車中避難など避難行動中の方全てに対して、必要な情報伝達を行い、食料・生活必需品等が行き渡る体制を構築する。
23			事業所等は、災害により従業員や利用者等が帰宅困難となることを想定し、滞在スペースや必要物資等を確認する。
25		支援	特別な介助が必要な住民の避難所受入体制を検討するとともに、福祉サービスが継続して受けられる福祉避難所等と連携した運営訓練を実施する。

別紙1

〈③その他実施項目例〉2/3

番号	大区分	中区分	小区分
26	共助	支　援	「避難行動要支援者名簿（※４）」等を活用した、住民避難及び屋内退避に係る訓練など、特に要配慮者に重点を置いた避難・誘導及び避難所運営訓練を実施する。
27			「男女共同参画の視点からの防災手引書ダイジェスト版」を活用し、男女双方の視点を取り入れた避難所運営訓練を実施する。
28			「避難所のペット飼育管理ガイドライン」に基づき、ペットとの同行避難を想定した避難所運営訓練を実施する。
29			「自主防災組織活動（共助）チェックリスト（※４）」を活用し、取組が進んでいない活動を具体的に把握し、それに対応する訓練を実施する。
30			防災アプリ「静岡県防災」の防災モニター機能を活用し、避難所開設状況を防災アプリに投稿する避難所開設訓練を実施する。
31			防災アプリ「静岡県防災」の避難所支援機能を活用し、感染症を踏まえた受付方法の確認訓練を実施する。
32			防災アプリ「静岡県防災」の避難所支援機能を活用し、避難生活における、感染症を踏まえた避難所内での情報伝達、および体調報告等の訓練を実施する。
33		運　営	被災後生活の質的向上を目指し、避難所の居住スペースの割り当てや公共スペースの設置などの避難所運営訓練を実施する。
34			避難所の円滑な設置・運営のため、避難所運営ゲーム（ＨＵＧ）（※11）等を活用する。
35			「イメージＴＥＮ（※４）」を活用した自主防災組織本部の開設・運営訓練を実施する。
36		人材育成	地域防災の新たな担い手として、若年世代（中・高校生等）の地域防災訓練への参加を促進する。
37			防災資機材を適切に保管・管理するとともに、訓練を通じ、防災資機材を活用できる人材の育成を図る。
38			地域防災指導員や地域防災人材バンク登録者（※12）、わたひな普及員を積極的に活用し、地域の防災力の底上げを図る。
39			地域における率先避難者(※13)の育成を図る。
40		その他	南海トラフ地震臨時情報について自主防災組織等を通じ、地域住民へ周知する。
41			津波避難施設へ避難後、南海トラフ地震臨時情報（巨大地震警戒）発表下において、津波警報が解除された場合、避難所への避難訓練を実施する。
42			「黄色いハンカチ作戦（※14）」の実施など、地域における安否確認訓練を実施する。
43			若年世代と共に「防災資機材・防災用品点検チェックリスト」を活用して、避難所や自主防災倉庫の資機材等を点検し、操作方法の習熟を図る。(※15)。
44			「地域防災活動マニュアル」を活用し、災害種別ごとの避難訓練を実施する。
45			訓練の中で「命のパスポート（※４）」の作成を参加者に促す。

別紙1

〈③その他実施項目例〉3/3

番号	大区分	中区分	小区分
46	個別災害への対応	風水害への対応	洪水や土砂災害等の発生が懸念される地域では、洪水・土砂災害ハザードマップ等で自宅や職場等の災害危険度を確認するなどの訓練を実施する。
47			避難行動が同一となる地域で、「わたしの避難計画」や「マイ・タイムライン」を作成する。
48			市町配布のハザードマップや防災アプリ「静岡県防災」や静岡県GISを利用して、浸水想定区域図による自宅や職場等の災害危険度を確認する。
49			市町配布のハザードマップや防災アプリ「静岡県防災」で指定緊急避難場所や避難所を確認するとともに、避難経路も確認する。
50			避難行動判定フロー等を活用して避難行動を確認する。
51		火山災害への対応	富士山や伊豆東部火山群のハザードマップを確認したり、噴火警戒レベルに応じた「とるべき防災対応」を確認する訓練を実施する。
52	その他	孤立地域の対応	孤立が予想される地域において住民が、災害時、安全にヘリコプターと連携を行えるようヘリポート開設訓練等を実施する。
53			孤立が予想される地域における通信手段を確認し、通信訓練を実施する。
54			孤立が予想される地域の住民が主体となった給水訓練や炊出し訓練等を実施する。
55		外部との連携等	各種訓練を通じて、市町本部と自主防災組織の役割分担を確認する。
56			災害ボランティアとの連携要領を確認する。
57			病院、診療所、医療関係団体等との連携要領を確認する。
58			福祉避難所の運営（※４）について、施設管理者等と連携要領を確認する。
59			地域内輸送拠点（市町物資受入拠点）から避難所までの物資輸送の方法や手順を確認する。 ※参照：南海トラフ地震における静岡県広域受援計画（R8.3静岡県）

※１ 詳細は、一般社団法人フェーズフリー協会「フェーズフリーとは」等（付紙１）参照。

※２ 自宅の平面図などを見ながら、家族全員で災害時の対応策を考える訓練。詳細は静岡県のホームページ（付紙１）参照。

※３ 詳細は気象庁および内閣府のホームページ（付紙１）参照。

※４ 詳細は静岡県のホームページ（付紙１）参照。

※５ 詳細はスフィアハンドブック（人道憲章と人道支援における最低基準）（付紙１）参照。

※６ 詳細は内閣府官房および県のホームページ（付紙１）参照。

※７ 高齢者や障害のある人など、要配慮者を災害から保護するために必要な措置を実施するための基礎となる名簿。

※８ 詳細は東京海上日動のホームページ（付紙１）参照。

※９ 詳細については、携帯電話各社のホームページ（付紙１）参照。

※10 詳細は内閣府のホームページ（付紙１）参照。

※11 「避難所ＨＵＧ」（Hinanzyo Unei Game）とは、避難者の年齢や性別、国籍やそれぞれが抱える事情が書かれたカードを、避難所の体育館や教室に見立てた平面図にどれだけ適切に配置できるか、また避難所で起こる様々な出来事にどう対応していくかを模擬体験するゲーム。詳細は静岡県のホームページ（付紙１）参照。

※12 静岡県知事が認証した「静岡県防災士」「静岡県防災フェロー」「静岡県防災マイスター」を登録した名簿。詳細については、静岡県のホームページ（付紙１）を参照すること。

※13 率先避難者とは、身近に危険の兆しが迫っている時に、その危険をイメージし、自ら率先して避ける行動を起こす人。

※14 災害時において無事であった家庭が、玄関先に黄色いハンカチを掲げることにより、救助の必要がない旨を近所に伝える安否確認体制のこと。

※15 防災資機材の操作訓練は、保管場所から持ち出すところから開始すること。リスト詳細は静岡県のホームページ（付紙１）参照。

付紙１

参考情報

〇各地域局の連絡先

＜賀茂地域局＞　電話　０５５８－２４－２００４　　＜東部地域局＞　電話　０５５－９２０－２１８０

＜中部地域局＞　電話　０５４－６４４－９１０４　　＜西部地域局＞　電話　０５３８－３７－２２０４

〇参考資料

静岡県防災アプリのダウンロード	・Google Playからダウンロードする場合 https://play.google.com/store/apps/details?id=jp.shizuoka.pref.bousai&hl=ja	
	・App Storeからダウンロードする場合 https://apps.apple.com/jp/app/id1455301913?l=ja&ls=1	
新たな防災気象情報関連	・新たな防災気象情報について（令和８年～）（気象庁ホームページ） https://www.jma.go.jp/jma/kishou/know/bosai/keiho-update2026/index.html	
	・避難情報に関するガイドラインの改定（令和８年３月）（内閣府 防災情報のページ） https://www.bousai.go.jp/oukyu/hinanjouhou/r3_hinanjouhou_guideline/	
国民保護関連	・国民保護ポータルサイト（内閣府官房ホームページ） https://www.kokuminhogo.go.jp/	
	・静岡県の国民保護 https://www.pref.shizuoka.jp/bosaikinkyu/kokuminhogo/index.html	
	・弾道ミサイル落下時の行動等について https://www.pref.shizuoka.jp/bosaikinkyu/kokuminhogo/kokuminhogotaiou/1029951.html	

国民保護関連	・国民保護法に基づく避難施設の指定 https://www.pref.shizuoka.jp/bosaikinkyu/kokuminhogo/kokuminhogotaiou/1029948.html	
新型コロナウィルス感染症関連	・新型コロナウィルス感染症に配慮した避難所開設・運営訓練ガイドライン（第３版） http://www.bousai.go.jp/taisaku/pdf/corona_hinanjo03.pdf	
	・災害時における新型コロナウィルス感染症の防止対策 https://www.pref.shizuoka.jp/bosaikinkyu/sonae/1040812/1029847.html	
地震被害想定・防災対策関係	・静岡県第４次地震被害想定 https://www.pref.shizuoka.jp/bosaikinkyu/sonae/earthquake/1040810/1029867.html	
	・静岡県木造住宅耐震補強ITナビゲーション（プロジェクト「ＴＯＵＫＡＩ－０（ゼロ）」）） https://www.pref.shizuoka.jp/kurashikankyo/kenchiku/taishinka/1041569/index.html	
	・だって、みんなで助かりたいもん！～いざという時役に立つ、防災訓練事例集Vol.2～ https://www.pref.shizuoka.jp/_res/projects/default_project/_page_/001/029/998/255-2011-1.pdf	
	・命のパスポート https://www.pref.shizuoka.jp/bosaikinkyu/sonae/earthquake/1030067.html	
	・防災の本棚 https://www.pref.shizuoka.jp/bosaikinkyu/sonae/earthquake/bosaicenter/1003638/1003653/1003656/index.html	
	・地震対策情報 https://www.pref.shizuoka.jp/bosaikinkyu/sonae/earthquake/bosaicenter/1003638/1043919/1040349/index.html	

自主防災関係	・一人ひとりの避難計画「わたしの避難計画」 https://www.pref.shizuoka.jp/bosaikinkyu/sonae/1040812/1029856.html	
	・自主防災組織活動マニュアル https://www.pref.shizuoka.jp/bosaikinkyu/sonae/jishubosai/1030002.html	
	・自主防災組織災害対応訓練「イメージＴＥＮ」 https://www.pref.shizuoka.jp/bosaikinkyu/sonae/jishubosai/1030089.html	
	・家庭内ＤＩＧ　～地震がきても、わが家で暮らす方法～ https://www.pref.shizuoka.jp/bosaikinkyu/sonae/1040807/1030088.html	
	・備蓄について https://www.pref.shizuoka.jp/bosaikinkyu/bosaijoho/1030019.html	
	・避難所運営ゲーム（ＨＵＧ）について https://www.pref.shizuoka.jp/bosaikinkyu/sonae/earthquake/bosaicenter/1003638/1043919/1030041.html	
自主防災関係	・防災まち歩きシミュレーション（東京海上日動ホームページ） https://www.tokiomarine-nichido.co.jp/world/egao/sonae/escape-sim.html	
	・防災・減災に役立つコンテンツ「自然災害から命を守るため、知ってほしいこと」 https://www.gov-online.go.jp/tokusyu/cu_bosai/index.html	
	・ペットの地震対策 https://www.pref.shizuoka.jp/kenkofukushi/eiseiyakuji/dobutsuaigo/1003146/1025167.html	

自主防災関係	・南海トラフ地震臨時情報の確認（静岡県ホームページ） https://www.pref.shizuoka.jp/bosaikinkyu/sonae/earthquake/nankaitorafu/1035406.html	
	・外国人住民のための避難生活ガイドブック「やさしい日本語」版、「多言語」版 ・地震防災ガイドブック「やさしい日本語」版 https://www.pref.shizuoka.jp/kurashikankyo/1049844/tabunkachiiki/1056999/1015576.html	
自主防災関係 チェックリスト	・突発地震発生時の自主防☆初動チェックリスト　・避難所運営チェックリスト ・家庭内対策（自助）チェックリスト　・自主防災組織活動（共助）チェックリスト ・防災資機材・防災用品点検チェックリスト　・集合住宅の災害時の安全対策チェックリスト https://www.pref.shizuoka.jp/bosaikinkyu/sonae/jishubosai/1030017.html	
スフィア基準	・スフィアハンドブック（人道憲章と人道支援における最低基準） https://jqan.info/wpJQ/wp-content/uploads/2019/10/spherehandbook2018_jpn_web.pdf	
福祉避難所	・福祉避難所 https://www.pref.shizuoka.jp/kenkofukushi/iryo/1002863/1021887.html	
フェーズフリー	・一般社団法人ﾌｪｰｽﾞﾌﾘｰ協会「ﾌｪｰｽﾞﾌﾘｰとは」　https://phasefree.or.jp/phasefree.html ・愛知県碧南市ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ　https://www.city.hekinan.lg.jp/index.html ﾎｰﾑ＞組織一覧＞市民生活部＞危機管理課＞家庭での災害対策＞いつもをもしもにﾌｪｰｽﾞﾌﾘｰ ・栃木県小山市ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ　https://www.city.oyama.tochigi.jp/ ﾎｰﾑ＞くらし＞防災・防犯＞防災＞災害に備える＞備えないﾌｪｰｽﾞﾌﾘｰ ・千葉県旭市ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ　https://www.city.asahi.lg.jp/ ﾄｯﾌﾟ＞くらしの情報＞防災・防犯＞防災＞備えない防災のｽｽﾒ～ﾌｪｰｽﾞﾌﾘｰを取り入れよう	
人材の活用	・地域防災人材バンク名簿 https://www.pref.shizuoka.jp/bosaikinkyu/sonae/earthquake/bosaicenter/1003638/1003653/1034674.html	

緊急速報メール 携帯電話各社ＨＰ	・NTTドコモ https://www.nttdocomo.co.jp/service/areamail/	
	・KDDI（au） https://www.au.com/mobile/anti-disaster/kinkyu-sokuho/	
	・UQ mobile https://www.uqwimax.jp/mobile/plan/option/area-saigai-hinan/	
	・ソフトバンク https://www.softbank.jp/mobile/service/urgent_news/	
	・Y!mobile https://www.ymobile.jp/service/urgent_mail/	
	・楽天モバイル https://network.mobile.rakuten.co.jp/service/emergency-alert-mail/	
災害時の 電話利用方法	・災害用伝言ダイヤルや災害用伝言板 災害用伝言サービス等の案内ページ（総務省ホームページ内） http://www.soumu.go.jp/menu_seisaku/ictseisaku/net_anzen/hijyo/dengon.html	
	・一般社団法人 電気通信事業者協会 https://www.tca.or.jp/information/disaster.html	
	・各電話会社による災害用伝言サービス等の案内ページ NTT東日本 http://www.ntt-east.co.jp/saigai/index.html	

災害時の 電話利用方法	NTT西日本 https://www.ntt-west.co.jp/dengon/	
	NTTドコモ https://www.nttdocomo.co.jp/info/disaster/index.html	
	KDDI（au） https://www.au.com/mobile/anti-disaster/saigai-dengon/	
	UQ mobile https://www.uqwimax.jp/information/202102141.html	
	ソフトバンク https://www.softbank.jp/mobile/service/dengon/	
	Y!mobile https://www.ymobile.jp/service/dengon/	
	楽天モバイル https://mobile.rakuten.co.jp/news/anpi_20160415/	
風水害対策	・県内市町のハザードマップへのリンク一覧 https://www.pref.shizuoka.jp/bosaikinkyu/sonae/1049223/1035848.html	
	・ハザードマップポータルサイト https://disaportal.gsi.go.jp	

風水害対策	・国土交通省地点別浸水シミュレーション検索システム（浸水ナビ） https://suiboumap.gsi.go.jp/	
	・マイタイムライン https://www.mlit.go.jp/river/bousai/main/saigai/tisiki/syozaiti/mytimeline/index.html	
	・マイタイムラインの取組 （★みんなでマイタイムラインプロジェクト★） http://www.ktr.mlit.go.jp/shimodate/shimodate00285.html	
	・風水害イメージＴＥＮ（マニュアル）※リンク先のページ下方参照 https://www.pref.shizuoka.jp/bosaikinkyu/sonae/earthquake/bosaicenter/1003638/1043919/1043513.html	
火山防災対策	・富士山火山防災対策 -富士山噴火時避難ルートマップ　-富士山火山防災GIS(静岡県地理情報システム) -富士山火山広域避難計画 https://www.pref.shizuoka.jp/bosaikinkyu/sonae/kazanfunka/fujisankazan/1030022.html	
	・伊豆東部の地震活動の見通しに関する情報について https://www.data.jma.go.jp/svd/eew/data/izu/izu_eq_index.html	
	・気象庁の活火山情報 -富士山の火山観測データ https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/open-data/open-data.php?id=314	
	-伊豆東部火山群の火山観測データ https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/open-data/open-data.php?id=316	